

『作品選集2018』掲載作品募集について

『作品選集2018』への発表作品を募集します。作品選集の刊行は、1989年に始まり、日本における建築作品の発表の場として、国内外より高い評価を受けており、本会の最も重要な事業のひとつとなっております。作品選集掲載作品のうちから特に優れた作品を「作品選奨」として選考し表彰します。また、2017年4月1日時点で40歳未満の作品選集掲載作品の筆頭設計者を「作品選集新人賞」として表彰します。会員諸氏の作品選集への積極的な応募を望みます。

『作品選集2018』応募申込書はホームページをご利用ください。

<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2017/sakuhin2018.pdf>

募集要領

1. 目的

本会の目的に照らし、建築に関する総合的な観点から高い水準を有する建築作品を広く会員より募集し、選考の結果、採択された作品の概要を毎年1回刊行される「建築雑誌増刊 作品選集」に掲載して、会員に紹介することにより、優れた建築作品の発表の場を作り、これらの作品の記録に役立てるとともに、会員の制作活動の向上に資することを目的とする。

2. 募集対象

本会会員により設計され、2013年8月1日から2016年7月末日までに竣工した建築作品で、建築規模、用途は問わない。

建築作品には、住宅設計、修景設計、広場設計、団地設計等、都市デザイン的な領域をも広く含むものとする。

3. 応募資格

応募は、主たる設計者が全員個人会員であることとする。なお、主たる設計者とは実際に設計に携わった者であり、作品への貢献が最も高いと認められる者および作品の内容に共同の責任を負える者全員とする。詳細は「論文・作品の発表の場におけるピアレビューに関する倫理規程」(<http://www.aij.or.jp/jpn/guide/rinri.pdf>)を参照のこと。

4. 応募の件数

制限は設けない。

5. 選考の資料

1— 所定の応募申込書3部

2— 現地交通案内概略図6部

(掲載時の巻末地図、現地審査資料として使用)

3— 原稿(見開き2頁以内に、設計主旨(英文は空欄でもよい)と図面・写真を割り付けたもの)3部

原稿の体裁は「原稿執筆要領(抜粋)」(<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2017/sakuhinstyle.pdf>)を参照して作成する。カラーコピーも可。

4— 図面(配置、平面、立面、断面、構法や仕上げがわかるもの(矩計図等)、その他設計主旨を補足する図面、縮尺は適宜)。大きさはA4判以内。

5— 写真(キャビネ判以上)20枚以内。カラーコピーも可。周辺環境がわかるものを含むこと。

6— 各階面積等基本データ

7— 検査済証のコピー(建築)を提出のこと。確認申請不要物件は、不要理由を明記した文書を提出のこと。

8— 主たる設計者が複数の場合は、それぞれの設計者が応募作品にどう関与したかを明記した資料(主たる設計者はその応募作品に主となって関与した関係者のあいだで了解が得られていること)。設計者の資格に関しては内容を問い合わせることがある。

9— 1万分の1地図(作品の所在地を図示したもの)。海外作品はこれに準ずる地図。コピー可。

上記1～9をA4判クリアファイル1冊に番号順に収めて提出のこと。別途、上記1～9の電子データ(1はテキストデータが抽出可能なPDF)をCD-ROM等におさめて提出すること。また、選考の必要上さらに詳細な資料の提出を求めることがある。海外作品については、プロジェクトの背景とその解決について明快なコンセプトを示すこと。

6. 応募期間

2017年4月13日(木)から5月11日(木)17:00までに必着のこと。

7. 提出先

応募作品の所在地を所轄する本会各支部の事務局、海外作品については本部の事務局とする。応募作品を提出する支部が違う場合は、選考から外れるので十分注意すること。

8. 選考方法

1— 各支部に提出された応募作品のうちから、各支部に設置された支部選考部会が作品選集委員会に推薦する作品を決定する。選考は上記資料に一部現地視察を加えて行う。

2— 海外作品については、海外作品選考部会が作品選集委員会に推薦する作品を決定する。

3— 各支部選考部会ならびに海外作品選考部会によって推薦された作品のうちから、作品選集委員会が作品選集に掲載する作品を決定する。

4— 選考結果は10月上旬までに応募者に通知する。

9. 選考基準

建築の学術・技術・芸術面での調和のとれた進歩、発展を目的とする本会の立場から、採択される作品は下記の諸点において、本会が刊行する作品選集に掲載されるにふさわしい水準を持つべきものとする。

1— 計画、構造、環境・設備および材料・工法技術に関する設計の論理性

2— 社会性、歴史性、文化性から見た地域環境への適合性

3— 外部空間、内部空間の両面における造形

4— 設計全般にわたってのオリジナリティ

5— 地球環境保全に対する配慮および建築物のライフサイクルに対する取り組み

以上の側面から見て優れた作品であること。また個別部分に際立って優れた部分のある作品であること。

10. 掲載原稿

作品選集に掲載が決まった作品は、2017年10月13日(金)までに下記の掲載原稿を作成し、本部事務局に提出する。執筆要領等詳細は掲載決定通知とともに送付する。

1— 設計主旨(英文併記)

2— 建築概要(作品名、発表者名、所在地等、基本データには英文併記のこと)

3— 図面（そのまま版下となる明瞭なもの）

4— 写真（画像データまたはカラーの場合はポジフィルム。写真の著作権処理は応募者の責任とする）

5— 作品データ

11. 作品選集の発行

建築雑誌増刊号として2018年3月に発行の予定。

各作品は、見開き2ページに、設計主旨、建築概要、図面、写真、ならびに選評を取める。

12. 応募料・掲載料

1— 応募料

応募者は応募料として1作品につき10,000円を応募と同時に支部窓口、現金書留、または銀行振込で応募支部に納入する。現金書留には応募申込書のコピーを必ず同封する。銀行振込の場合は振込要領 (<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2017/ouboryou2018.pdf>) にしたがって送金する。

2— 掲載料

作品選集に掲載が決まった場合は、1作品につき50,000円を掲載料として掲載原稿とともに本部に納入する。納入方法は別途通知する。

13. 著作権

1— 掲載作品の著作権は応募者に帰属するものとし、本会は編集出版権をもつ。

2— 複写権、翻訳権を本会に委託するものとする。

3— 本会は、掲載作品を電子形態によって公開できる。

4— 著作権の侵害等の問題は応募者がすべての責任を負う。

作品選集は電子形態によって公開されることを前提に、写真等について他者の著作権を侵害しないように十分注意する。

14. ウェブサイトによる公開

1— 作品選集は本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。

2— 公開にあたり、本会は応募者の許諾をとることによって掲載ページの写真・図面等を無償で利用することができる。

15. 賞対象

1— 作品選奨

掲載作品は、「2018年日本建築学会作品選奨」の候補となる。ただし、海外作品は除く。

作品選奨を受賞する場合、対象となる主たる設計者には、応募申込書の応募者の「賞対象者」欄に○印をつけること。応募後の賞対象者の変更は原則として認めない。

2— 作品選集新人賞

応募年（2017年）の4月1日時点で40歳未満の作品選集掲載作品の筆頭設計者を「作品選集新人賞」として表彰する。ただし、すでに賞を受けたことのある者、また過去に学会賞（作品）または作品選奨を受賞した者は除く。

16. その他

1— 所定の応募申込書は、本会ホームページよりダウンロードして使用する。

2— 応募資料、掲載原稿の作成費は自己負担とする。

3— 応募資料、掲載原稿の図面・写真は返却する。ただし、作品選集に掲載が決まった作品の応募資料は、作品選奨の審査が終了するまで返却しない。

4— 学会賞（作品）への応募は応募者が別途行う。

17. 各支部所在地および所轄都道府県一覧

・北海道支部（北海道）

〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1 北海道建設会館6階
TEL011-219-0702

・東北支部（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15
日本生命仙台勾当台南ビル4階 TEL022-265-3404

・関東支部

（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県）

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 建築会館

TEL03-3456-2050

・東海支部（静岡県・岐阜県・愛知県・三重県）

〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル9階
TEL052-201-3088

・北陸支部（新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県）

〒920-0863 金沢市玉川町15-1 パークサイドビル3階

TEL076-220-5566

・近畿支部（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

大阪科学技術センター内 TEL06-6443-0538

・中国支部（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5階

広島県建築士会内 TEL082-243-6605

・四国支部（徳島県・香川県・愛媛県・高知県）

〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

高知工科大学地域連携棟201 TEL0887-53-4858

・九州支部

（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）

〒810-0001 福岡市中央区天神4-7-11

クリアビル5階 TEL092-406-2416

18. 作品選集委員会

* 印の退任委員の後任は、2017年6月までに決定

1— 作品選集委員会

委員長 安田幸一*

幹事 乾久美子* 長谷川巖

委員 鮎川透 安藤雅人 五十嵐太郎 大岡龍三*

小松尚 佐々木仁 下吹越武人 白川裕信*

田川正毅 富永祥子* 西村伸也 村上徹

門内輝行 柳澤潤

2— 支部選考部会

北海道 田川正毅 小篠隆生 菊田弘輝 西村康志郎

前田芳伸 山田良

東北 五十嵐太郎 飯田善之 加藤一成 三宅諭

森山修治 安田直民 矢野英裕

関東 下吹越武人 岡田裕 門脇耕三 川辺直哉

木島千嘉 熊谷智夫 国府田道夫 坂井和秀

柴田作 高口洋人 土屋博訓 鳴海雅人

福島加津也

東海 小松尚 生田京子 宇野享 鈴木えいじ

曾我裕 田中宏明 富川桂二郎

北陸 西村伸也 篠島弘男 鈴木晋 高嶋猛

	羽藤広輔	宮下智裕		
近畿	門内輝行	大谷弘明	笹村欽也	長坂大
	西村勝尚	原田哲夫	松本明	三好裕司
中国	村上徹	岩本弘光	内田文雄	岡河真
	小川晋一			
四国	安藤雅人	新居照和	佐藤昌平	松澤敏明
九州	鮎川透	鱒坂徹	岡田知子	清水耕一郎
	中村裕文	西村謙司	本間里見	前田慎
	安武敦子	吉田寛史		

3—海外作品選考部会

部会長 乾久美子*

幹事 佐々木仁

委員 白川裕信* 富永祥子* 長谷川巖 柳澤潤

(敬称略)

19. 問合せ(本部)

日本建築学会事務局 作品選集担当：内野／朝香

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL03-3456-2017